

さんぽ会名古屋

～東海地域の産業保健関係者に関わる人が
気軽に集う、多職種連携を目指した自主的取り組み～

澤田 真美, 安田 博之, 渡井 いずみ,
水越 真代, 高畑 真司, 工藤 香奈

本発表における利益相反の開示

- ▶ 本発表に関連して、共同演者含め開示すべき利益相反に該当する項目はありません。

背景: 発足までの経緯

- ▶ 東京「さんぽ会」
 - 東海地域の産業医・産業保健師等が複数名、継続参加
 - 東海地域にも、同様の産業保健関連の多職種が集う会(勉強会)が欲しいとの意見
- ▶ 2012年 某企業の支援を得て試験的に「さんぽ会(東海)」の研修会を名古屋で開催
 - 継続的な開催に賛同した数名(現幹事)が準備開始
- ▶ 2013年4月「さんぽ会東海」の立ち上げ
 - 1年間の試験的運用, 4回の研修会と懇親会を実施
 - 参加者の増加が見られ、ニーズがあると判断
- ▶ 2014年4月「さんぽ会名古屋」として正式に発足
 - 規約の設定
 - ホームページの開設
 - 定期的な幹事会に基づいた例会の企画・実施・評価

目 的

- ▶ 東海地域の産業保健関係者の多職種連携を目指した自主的取組である
- ▶ さんぽ会名古屋のこれまでの活動の概要と参加者からの評価を明らかにする

方法:さんぽ会名古屋の概要

- ▶ **対象者: 東海地域で働く産業保健関係者**
 - 産業医、開業医、看護職、栄養士、心理士、理学療法士等の医療・福祉職
 - 人事・労務関係者など企業関連者
 - 学生、大学教員、議員など
- ▶ **実施方法: 産業保健関連の勉強会(例会)の開催**
 - 年に4回(4月、7月、10月、1月)
 - 開催時間: 基本は金曜日の18:30~20:30
 - 開催場所: 名古屋駅周辺の会場(100名規模の会議室)

職種を問わない

参加しやすさの工夫

方法: 例会の特徴

- ▶ テーマ設定
 - 参加者の声(アンケート)などから、幹事が協議して設定
 - 開催1ヶ月前に会員(過去参加しアドレスを登録)にメールで開催通知
- ▶ 講師
 - 話題提供者(会員から募る)
 - 外部講師: 年1回程度(テーマの専門家・研究者等、遠方から招聘あり)
- ▶ グループワーク
 - 主体的に参加するため、必ず取り入れる
 - 1グループ4~6名とし、テーマに沿って情報交換・意見交換
- ▶ 参加費用
 - 1回1000円(資料代込み)
 - 会員制はとらない(管理を簡素化・参加しやすくするため)



方法: 例会の特徴

▶ 懇親会

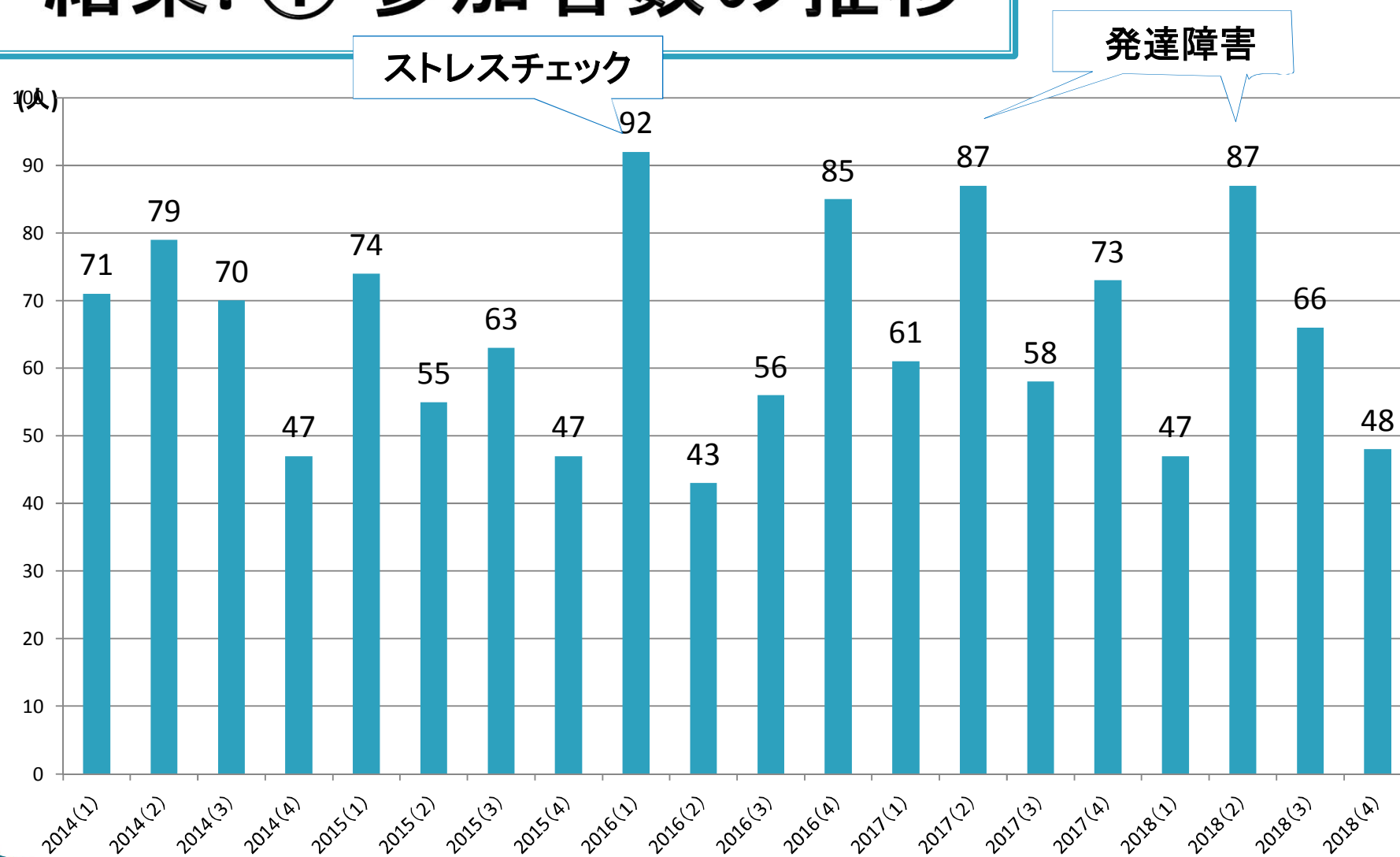
- 年に2回程度、例会終了後に近隣の居酒屋にて
- 参加者間の交流を深め、
産業保健関係者の人的ネットワークを拡げるのが狙い
- 例会では声をあげにくい人も話しやすい雰囲気

▶ アドレス登録会員 465名(2019年4月末現在)

- 過去参加しメールアドレスを登録いただいた方
- メールで開催案内を送付
- ホームページで例会資料を閲覧
- 回ごとに10名程度新規会員登録
(口コミ・ホームページで参加)



結果: ① 参加者数の推移



のべ 1, 309名 / 平均 65.4名

※回により会場・曜日が異なる

年度
(回目)

結果: ② 例会のテーマと講師

2014	アルコールと産業保健	話題提供(会員3名)
	メンタルヘルス不調者の復職 (復職判定の実際)	話題提供(会員2名) 講師:精神科医
	ストレスチェックの導入(現場の運用)	話題提供(会員3名)
	がんと就労	話題提供 (会員2名・社労士)

2015	いまどきの若者・新入社員への関わり	話題提供(会員3名)
	高年齢雇用(体のリスクと心のリスク)	話題提供(会員2名)
	職場の健康づくりのゴールは?	講師:大学教員(予防医学)
	難病・中途障害者の就労支援	講師:大学教員(公衆衛生)

結果: ② 例会のテーマと講師

2016	いよいよ始まったストレスチェック 実際どうしていますか？	話題提供(会員3名)
	健康活動: まずは動いてみよう!	話題提供(会員2名) 運動サポートツール体験
	“サラメシ”を考える	話題提供(会員2名)
	健全でより良い組織を作るための組織開発	講師: 大学教員(組織開発)
2017	労基署の仕事と過重労働	講師: 元労基署所長
	“職場での発達障害”を理解するために	講師: 発達支援センター職員 話題提供(会員1名)
	海外勤務者の健康管理	話題提供(会員2名) 講師: 産業医 : 渡航クリニック院長
	腰痛・肩こりとこメンタルヘルス ～プレゼンティズムを減らし、ワーク・エンゲイ ジメントを高めるために～	講師: 大学教員(整形外科)

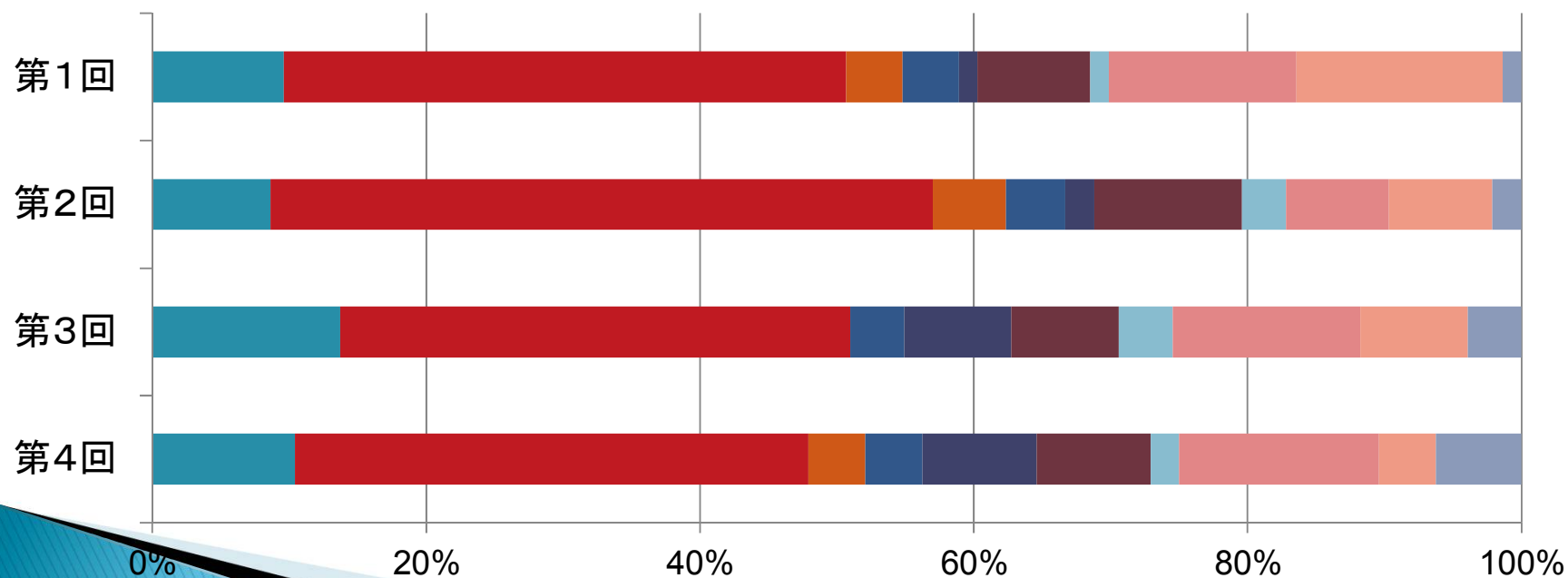
結果: ② 例会のテーマと講師

2 0 1 8	健康情報活用術	話題提供(会員2名)
	会社と大人の発達障害との向き合い方 ～グレーゾーンから手帳保持者への対処箋～	話題提供(会員1名)
	中小企業における健康経営	話題提供(会員2名)
	産業保健スタッフに求められる患者教育の視点 ～がんサバイバーが語る好事例の紹介～	講師:がんサバイバー

- テーマによって外部講師を依頼
- 会員からも話題提供をお願いしており、会の目的に賛同し、ご協力いただいている

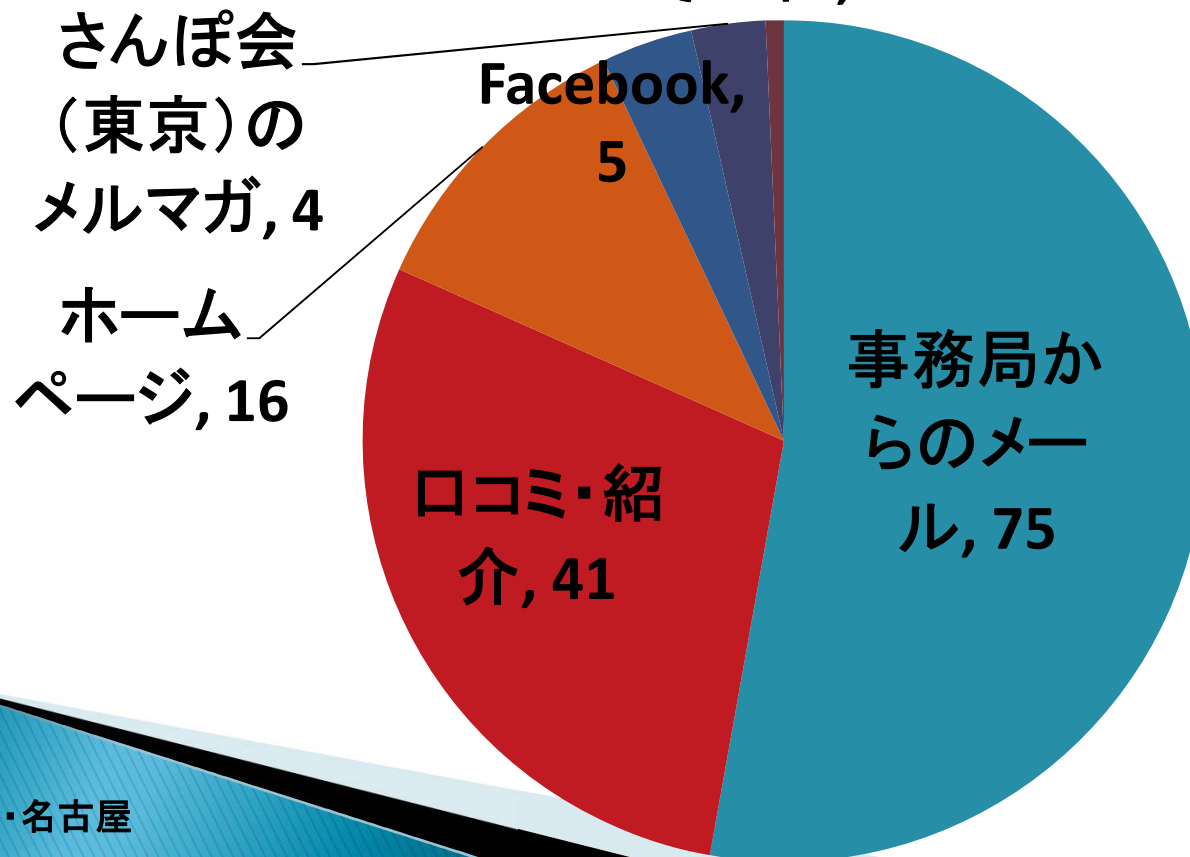
結果: ③ 参加者の多様性

▶ 2018年度 例会の参加者の職種・所属別割合



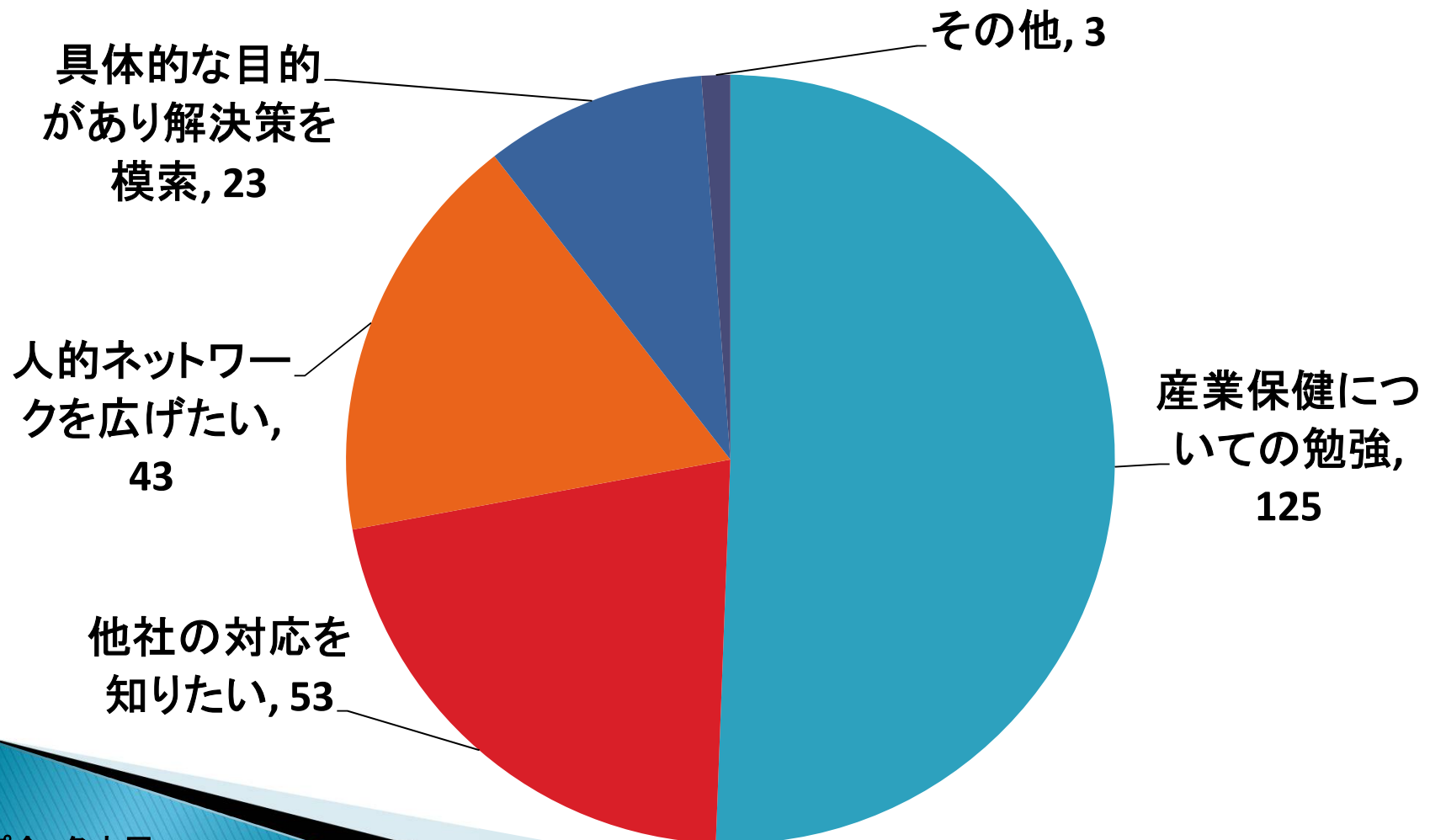
結果: ④ 参加者アンケート

- ▶ 2018年度 第1回～第3回
計146件(回収率73.0%)
- ▶ 例会の情報入手先 その他, 1



結果: ④ 参加者アンケート

▶ 参加の目的



結果: ④ 参加者アンケート

- ▶ アンケートより(複数回答抜粋)
 - 他社の取り組みを知ることができた
 - 具体的な対応策がわかった
 - テーマについての理解が深まった
 - 異なる立場から話が聞け興味深かった
 - (人事・健保など)連携の重要性を改めて感じた

考 察

- ▶ 産業保健全般に関する研修等は、職種別や業種別が多い。
- ▶ 多職種・多業種間のコミュニケーションの機会は、地方では決して多くない。



さんぽ会名古屋の活動は、参加しやすく、
また情報交換・情報共有、人的交流をはかる場として
今後も継続していきたいと考えています。